

只見線利活用計画

アクションプログラム2018

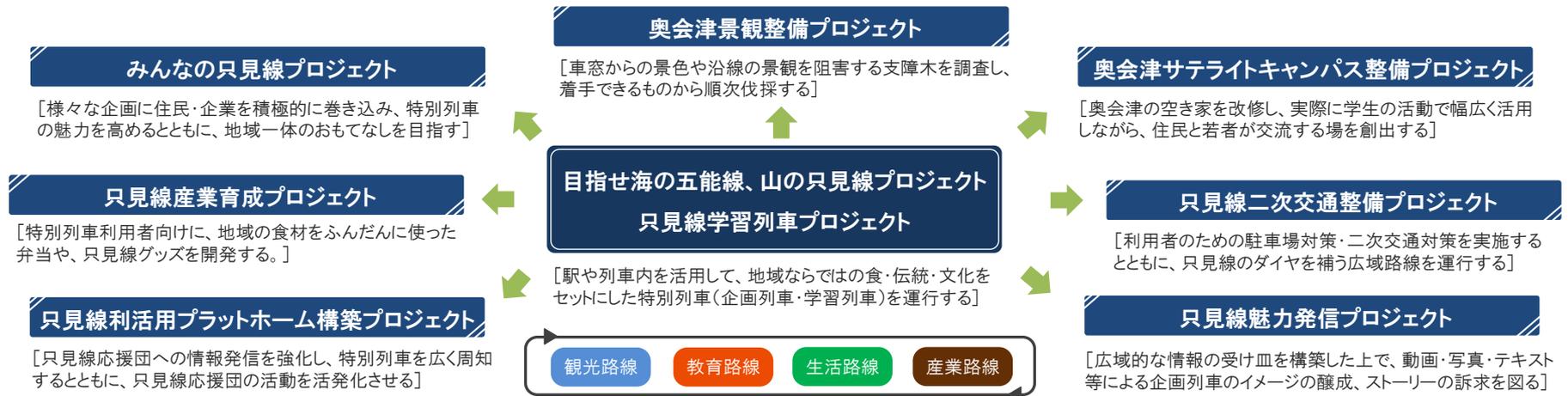


- ・只見線利活用計画で位置付けた各プロジェクトについて、より実効性を高めるため、具体的な事業案を盛り込んだアクションプログラムを策定し、毎年度見直しを行いながら、各プロジェクトの進行管理を行う。
- ・只見線の全線再開通に向けて、只見線への関心が高まりつつあるが、只見線利用者数は依然低いままであり、関心(情報のきっかけ)から実際の利用につなげる戦略的な事業展開が求められる。

2018年度取組方針

2018年度は只見線利活用計画の初年度として、今後の各プロジェクトの成否を占う重要な年度であり、関係者間の連携を一層強化し、総合的かつ効果的に事業を推進する。

- 1 取組の一元化を図るため、「目指せ海の五能線、山の只見線プロジェクト」及び「只見線学習列車プロジェクト」を基軸にして、発展的に事業を展開し、相乗効果をもたらせながら各プロジェクトを推進する。(イメージ下図)
- 2 関係者間の連携を一層強化し、新潟県側の協力も得ながら、会津17市町村が一体となって取り組むとともに、様々な企画に住民、企業、団体等を積極的に巻き込み、オール会津で「地方創生路線」の実現を目指す。
- 3 インバウンドや団体旅行など新たな需要を掘り起こし、只見線の更なる利用者増加を図るため、情報の受け皿を整備し確実な情報を発信しながら、戦略的広報により国内外に只見線を強くPRする。



只見線利活用計画 アクションプログラム2018（主要事業）

1 目指せ海の五能線、山の只見線プロジェクト

観光路線

地域資源を掘り起こし、磨き上げながら、列車内で会津の自然や文化に触れることができる只見線ならではの企画列車を運行する。

（只見線利活用計画）

KPI 企画列車年間利用者数 3,600人(2022)

KGI 企画列車の定期運行



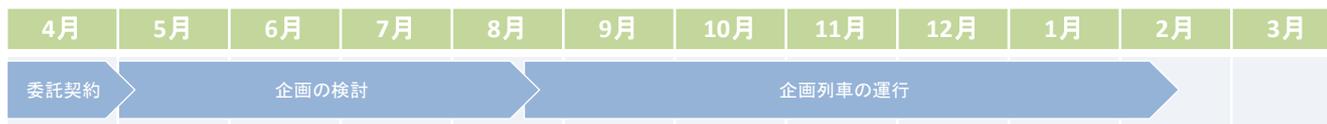
企画列車の運行

実施者 只見線利活用プロジェクト推進チーム

予算額 [福島県] 只見線活用による奥会津振興事業 30,998千円 ※全体事業費

地域が主体となり、只見線のガイドや車内や停車駅での地酒やご当地の食の提供、振舞いや伝統芸能の披露など、会津地域ならではの、ものづくりや伝統文化の体験をセットにした企画列車を運行する。

ヒト・モノ・コト・イロ、この地域にしかない資源を掘り起こし、磨き上げながら、地域の強みを活かした企画を多数実施する。



KPI 企画列車を年5回運行、乗車率80%(定員100名)、利用者満足度90%、企画数15本

(主な関連事業)

イベント列車運行時のおもてなし

イベント列車運行時の駅・車内でのおもてなしイベントの実施や、物産販売等を通して、只見線の利用促進を図る。

[会津坂下町、柳津町] 予算額: 会津坂下町40千円、柳津町130千円

訪日外国人へのおもてなし

只見線を利用して訪日外国人が多く訪れる第一只見川橋梁ビューポイントまでの二次交通と、通訳での案内や道の駅でのおもてなし事業を実施する。観光施設への送迎や現地観光案内など着地型観光に取り組む。

[三島町] みしま観光ブランド構築のための外国人おもてなし事業 予算額: 652千円

インバウンドへの対応

インバウンドの受入体制を整備するため、外国人旅行者に対してアンケート調査を行い、ターゲットを明確にしたうえで、着地型旅行商品の造成、営業活動、販売などを行う。

[金山町] インバウンド対応事業 予算額: 3,000千円

車窓ガイドブック作成

JR只見線利用促進実行委員会を中心に、只見線利用促進イベントの実施や、車窓ガイドブックの作成を行い、只見線の利用促進を図る。

[只見町] JR只見線利用促進実行委員会補助金 予算額: 6,000千円

※全体事業費

2 奥会津景観整備プロジェクト 観光路線

奥会津の風景を阻害している杉や雑木を伐採し、ビュースポットを整備するなど、奥会津の美しい景観を形成する。

(只見線利活用計画)
 KPI 杉の伐採箇所数 10箇所(2022)
 KGI ビュースポット・ポケットパークの整備
 自然散策路の整備

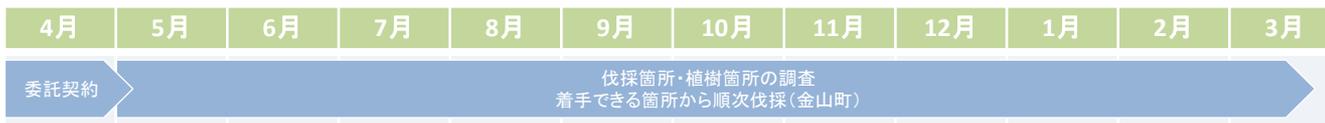


景観支障木の伐採等

実施者 **金山町、只見町**

予算額 [金山町]只見線活性化事業 1,200千円、[只見町]只見線景観整備事業 500千円

只見線沿線の景観や車窓風景を阻害する景観支障木の伐採や落葉広葉樹の植樹により、只見線の美しい景観を形成する。平成30年度は、伐採箇所及び植樹箇所を調査し、伐採計画を策定するとともに、着手できる箇所から順次伐採を開始する。



KPI **伐採箇所・植樹箇所の調査 10箇所**

(主な関連事業)

地域づくりを支援

地域資源を活用した住民主体の地域づくりを支援するため、地域づくり団体・市町村とともに交流人口の拡大に結びつく戦略を策定し、ソフト・ハード両面からの地域活性化を図る。(只見線沿線地域においては、ポケットパーク整備に向けた調査を実施予定)

[福島県]元気ふくしま、地域づくり・交流促進事業 予算額:2,000千円

景観の整備

大志ビュースポットの草刈りや除雪など、住民や訪れる人々が気持ちよく生活・利用できるよう景観整備を行う。

[金山町]金山町景観整備事業 予算額:5,000千円

三島町ビューポイント環境整備

三島町で最も外国人観光客が訪れる第一只見川橋梁ビューポイントにおいて、冬期間も安全に上り下りできるように遊歩道の再整備など環境整備を行う。

[三島町]三島町ビューポイント維持管理事業 予算額:1,500千円

駅周辺の環境整備

ボランティアが駅周辺の花壇やプランターに花を植えるなど、駅周辺の景観整備を行うことで、只見線利用者へのおもてなしを行うとともに、只見線の利用を促進する。

[只見町]つながれつながれ只見線応援事業補助金 予算額:3,000千円

3 只見線学習列車プロジェクト

教育路線

ダム、自然、暮らし、農業、食、体験など、地域の教育資源を活用しながら、駅や列車内で環境教育や体験学習を行う。

（只見線利活用計画）

KPI 学習列車参加校 60校（2022）

KGI 学習列車の持続的な運行



学習列車の運行

実施者 只見線利活用プロジェクト推進チーム

予算額 [福島県] 只見線活用による奥会津振興事業 30,998千円 ※全体事業費

自然・景観・歴史・暮らしなど、只見線沿線にある数多くの学習資源を活用し、列車内で特色ある体験学習を実施する。住民、企業、行政が一丸となって、学習列車で訪れる小学校の受入を行うとともに、地域の特色を活かした多彩な企画を実施する。

例)地元案内人による地域紹介、奥会津編み組細工体験、赤べこ伝説・あわまんじゅうの振舞い



KPI 学習列車を年6回運行、参加校10校、学校満足度90%、企画数8本

（主な関連事業）

歴史・文化学習用パンフレット

既存の観光パンフレットに加え、歴史や文化など学びの学習を追加して地域の魅力をPRする。小学校高学年であれば理解できるよう、分かりやすいものとして、学習列車での活動など、幅広く活用する。

[会津・南会津地方振興局] 只見線魅力再発見事業ほか 予算額: 1,350千円

文化財の整備

金山町の文化財となっている施設の再整備を行うことで、旅行者等が訪れる場所とする。将来的には只見線の駅から徒歩圏内の施設の再整備も行う予定。

[金山町]文化財の整備 予算額: 1,000千円

只見線復旧支援ツアー

夏休み期間中、会津若松市内在住の小学校3～6年生を対象に、①会津鉄道会津線、②奥会津地域の魅力体験、③JR只見線の乗車体験がセットになったツアーを企画・実施する。

[会津若松市] 只見線復旧支援ツアー 予算額: 700千円

乗るだけ鉄人！乗って楽しむ鉄道ガイド

只見線の車窓から見えるポイントや豆知識を只見線ガイドが案内する。また、不通区間の復興状況などもバス車内で案内を行う(代行バスではなく、貸切バスでの案内)

[只見町観光まちづくり協会] 予算額: 300千円

4 奥会津サテライトキャンパス整備プロジェクト

教育路線

サテライトキャンパスを開設し、公開講座や学生のセミナーハウスなどとして活用することで、地域の拠点となる場を創出する。

（只見線利活用計画）

KPI 大学生等交流活動参加者数 1,000人(2022)

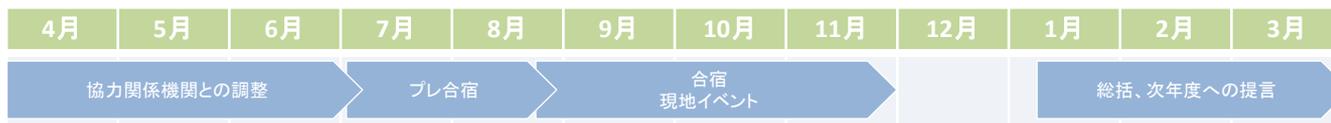
KGI サテライトキャンパスの新設



首都圏大学生との奥会津プロジェクト

実施者 会津大学・会津大学短期大学部・専修大学・拓殖大学・東京大学等（五十音順）
 予算額 1,500千円

金山町が整備している、冬期間一人暮らしの高齢者が共同生活を送るための多目的共同住宅を活用し、首都圏大学生の交流活動を行うとともに、サテライトキャンパスの実現に向けて、学生が主体となった現地調査やイベントを実施する。



KPI 首都圏大学生との奥会津プロジェクト延べ参加者数 70名



（主な関連事業）

大学生の力を活用

過疎・中間地域の担い手不足を解消し、地域コミュニティを維持・確保するため、県内外の大学生の力を活用して集落活性化を図るとともに、大学生等が地域づくりを学びながら、地域との交流を継続することで、将来的な定住・二地域居住につなげる。

[福島県] 大学生等による地域創生推進事業 予算額:6,612千円

只見線体験ツアー

多彩な体験ツアーを実施することで、参加者が只見線と地域の隠れた魅力に触れるきっかけを作るとともに、参加者の声を今後の利活用プロジェクトに活かす。

[福島県] 只見線活用による奥会津振興事業 予算額:30,998千円

※全体事業費

空き家等を活用した移住者受入

奥会津の課題である空き家等を活用し、移住者の受入により雪国での田舎暮らしや若者の起業を支援し、地域の活力の向上をめざす。空き家の改修に対する補助のほか、起業支援や雇用支援の補助も実施する。

[三島町] 三島町空き家・住宅改修費等補助金 予算額:11,250千円

多目的共同住宅の管理

冬期間に一人暮らしの高齢者が共同生活を送るための多目的共同住宅の維持管理を行う。冬期間以外は、移住者の体験住宅や学生のセミナーハウス等としても活用が可能となる。

[金山町] 多目的共同住宅事業 予算額:881千円

5 みんなの只見線プロジェクト ～只見線に乗って～

生活路線

地域の機運を高め、マイルール意識を醸成することで、只見線の利用促進を図るとともに、来訪者へのおもてなしの心を醸成する。

（只見線利活用計画）

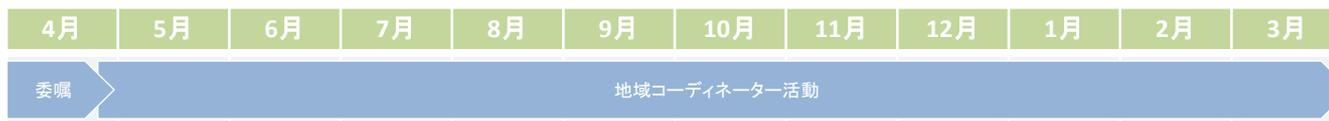
KPI 住民等による只見線利活用企画数 100本(2022)
KGI 全住民参加型の利活用促進・受入体制整備、ダイヤ見直し



地域コーディネーターの設置

実施者 只見線利活用プロジェクト推進チーム
予算額 ー 千円

只見線の復旧及び利活用に対する意識が各市町や企業、住民ごとに異なっている状況を踏まえ、只見線沿線という帰属意識の醸成を図るとともに、地域一体の取組となるため、新たに地域コーディネーターを設置する。地域コーディネーターが企業、団体、住民等と対話を行い、只見線利活用計画の周知、只見線関連情報の集約、発信及び各プロジェクトの調整を行いながら、地域を積極的に巻き込んでいく。



KPI 住民等による只見線利活用企画数 20本

（主な関連事業）

駅前冬季イルミネーション

只見線の復興と利用者へのおもてなしによる利用促進、地域の活性化に寄与することを目的として、冬期間中、イルミネーション事業を行い、街中を美しく彩る。

【会津美里町、会津坂下町、柳津町ほか】

只見線のりのり倶楽部

金山町民の只見線の乗車促進を中心に、町のイベントに只見線の利用で訪れた観光客にノベルティ等を提供するなど、只見線の利用促進を図る。

【金山町】JR只見線復旧応援団事業 予算額:3,000千円

只見線応援事業への補助

町内の各種団体、学校、企業など5人以上で構成したグループが実施する只見線の利用や活性化につながる事業に対し、最大10万円の補助金を交付する。

【只見町】つながれつながれ只見線応援事業補助金 予算額:3,000千円

だんだんど～も只見線沿線元気会議

只見線の復旧と存続、沿線地域の活性化に向け、各種取組を関係機関(県、市、商工会、コミュニティー協議会等)が連携しながら実施する。

【だんだんど～も只見線沿線元気会議(新潟県)】

だんだんど～も只見線沿線元気会議事業 予算額:未定

6 只見線産業育成プロジェクト

産業路線

ガイドの養成や商品開発など、只見線を活用しながら、地域ならではの産業を育成することで、住民が活躍できる場を創出する。

(只見線利活用計画)

KPI 只見線関連商品開発数 30品(2022)

KGI 地域経済の活性化・住民が活躍できる場の創出

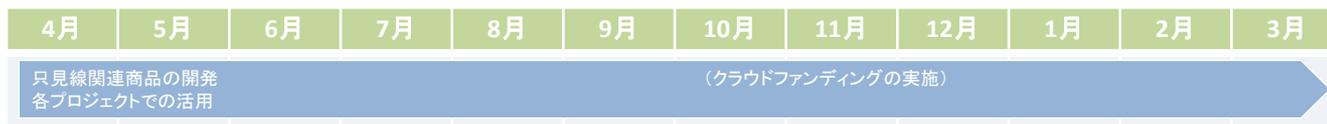


只見線関連商品の開発

実施者 県、市町村、民間企業、住民等

予算額 ー 千円

只見線の写真やイラストを使用した商品の開発・復活を通して、只見線をPRするとともに、各プロジェクトで活用することで、相乗効果をもたらす。また、クラウドファンディングも活用し、全国へ共感の輪を広げるとともに、集めた資金を各事業に活かす。



KPI 只見線関連商品開発数 5品



(主な関連事業)

食育弁当の開発

地域の特産をふんだんに使った食育弁当を大学、企業と連携して開発し、学習列車時に提供することで、地域ならではの食材や食文化に触れるきっかけをつくる。

[福島県] 只見線活用による奥会津振興事業 予算額:30,998千円
※全体事業費

六次化製品の開発・販路拡大

「奥会津フェア」や「奥会津ブランドフェア」等の展示会を開催し、奥会津の製品の知名度を向上させ、マーケティング調査等を通じ、商品のブラッシュアップや販路拡大に繋げる。

[奥会津振興センター] 新編「歳時記の郷・奥会津」活性化事業
(奥会津六次化製品開発・販路開拓事業) 予算額:2,875千円

只見線の利用啓発活動

只見線だよりの発行や只見線グッズの作成、PRポスターやチラシの作成などを通して、町民の意識向上と只見線の利用促進を図る。

[只見町] JR只見線利用促進実行委員会補助金 予算額:6,000千円
※全体事業費

只見線オリジナルグッズの企画・販売

「気軽に応援できる只見線」をコンセプトに、只見線のオリジナルグッズを企画し、沿線町村の道の駅や観光施設での販売を呼びかけ、沿線一体でPRを行う。

[只見町観光まちづくり協会] 予算額:500千円

7 只見線二次交通整備プロジェクト

二次交通事業の拡充や駐車場対策により、生活利用、観光利用の両面で、只見線の利用促進を図る。

（只見線利活用計画）

KPI 只見線駅と接続する新規路線数 6路線（2022）

KGI 只見線を核とした公共交通網の構築



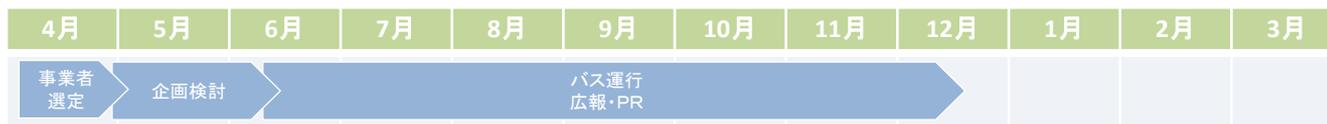
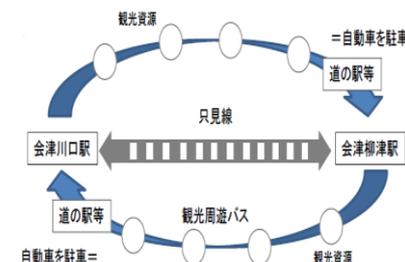
道の駅を活用したパークアンドライド

実施者 只見線利活用プロジェクト推進チーム

予算額 [福島県]来て。乗って！あいづ二次交通強化支援事業 45,474千円 ※全体事業費

大型駐車場を保有する道の駅等と連携し、只見線利用者のための駐車場を確保するとともに、観光周遊バスを活用した二次交通対策を実施し、自動車利用者が只見線に乗れる仕組みを構築する。

地域資源を巡る観光周遊バスを運行し、行きは只見線、帰りは観光周遊バスのモデルを作りながら、只見線の乗り継ぎの悪さを補うことで、只見線の利用者数を増やす。



KPI 柳津・会津川口間 観光周遊バス利用者数 1,000人

（主な関連事業）

タクシープランの造成

小型タクシーを貸し切りにして観光名所を巡るタクシープランを造成し、多様化する外国人観光客のニーズに対応しながら只見線沿線と奥会津地域への誘客を図る。

[奥会津振興センター]奥会津二次交通確保事業 予算額:800千円

町営バス・デマンドバス

三島町民向けの町営バス・デマンドバスの運行を実施する。また、只見線から第一只見川橋梁ビューポイントをはじめとする観光施設までの二次交通としても利用が可能。

[三島町]町営バス運行事業 予算額:28,707千円

公共交通の確保

会津川口駅から昭和村までの公共交通としての役割を担う会津バスへの経済的支援を行う。

[金山町]会津バス運行存続事業 予算額:6,240千円

生活交通対策

会津若松市への公共交通機関である只見線の昭和村民による利活用及び昭和村へ只見線を利用して訪れる方の利便性向上のため、会津バスと連携して、路線バスの運行を行う。

[昭和村]昭和村生活交通対策事業 予算額:11,638千円

8 只見線魅力発信プロジェクト ■■■■

只見線のプロモーションを強化し、ウェブページやSNS、テレビなど、様々な媒体により、地域の魅力を発信する。

（只見線利活用計画）

KPI 首都圏の只見線認知度 40%（2022）

外国人宿泊旅行者数（奥会津地域） 4,800人（2022）

KGI 全国から注目を集め、只見線に乗ってもらう。



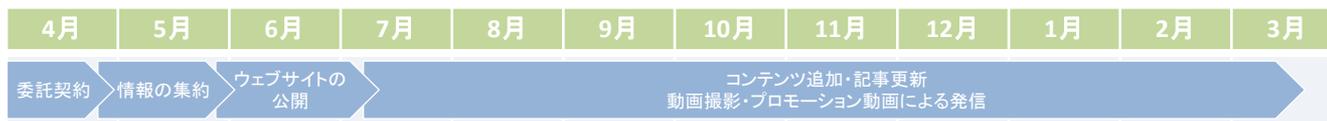
プロモーションの強化

実施者 只見線利活用プロジェクト推進チーム

予算額 [福島県]只見線プロモーション強化事業 25,500千円

インバウンドにも対応した、情報を集約、蓄積、発信する広域的な多言語ウェブサイトを制作し、只見線の魅力を広く発信する。

また、観光、産業、生活等の様々なシーンの動画撮影を行い、今後の情報発信、販路拡大に活用するとともに、プロモーション動画を制作し、魅力を効果的に発信する。



KPI 多言語ウェブサイト:コンテンツ数15、平均ページビュー数10,000PV/月、動画撮影:箇所数30



（主な関連事業）

吉本興業と連携したプロモーション

吉本興業と連携した只見線体験ツアーや吉本芸人によるSNS及び全国ネット番組等での情報発信を通して、只見線の地域の魅力を全国に届ける。

[福島県]只見線活用による奥会津振興事業 予算額:30,998千円

※全体事業費

フォトコンテストの開催

地域全体のさらなる復興の機運を盛り上げるため、フォトコンテストを開催する。さらに応募作品は当協議会を通じて広く活用することで、只見線沿線地域・奥会津地域をPRし、観光交流人口の拡大を図る。

[奥会津振興センター] 只見線のある風景写真コンテスト事業 予算額:720千円

奥会津のPR強化

旬な情報を効果的に情報発信するため、テレビ・インターネット等様々なメディアを用いて流域内のイベント情報や観光・物産情報を紹介し、「歳時記の郷 奥会津」の知名度を高める。

[奥会津振興センター] 新編「歳時記の郷・奥会津」活性化事業（奥会津広域観光PR事業） 予算額:20,446千円

SNSを活用した情報発信

金山町や只見線の魅力を観光客に伝えるため、FacebookなどのSNSを活用した観光PR・情報発信を行う。

[金山町]SNSを使った金山町や只見線の観光PR・情報発信事業 予算額:7,853千円

9 只見線プラットホーム構築プロジェクト

只見線応援団を活用しながら、各団体が活動しやすい環境を整備するとともに、住民主体の推進体制構築に向けて土台作りを行う。

(只見線利活用計画)
 KPI 只見線応援団企画参加者数 1,000人 (2022)
 KGI 住民主体の推進体制構築

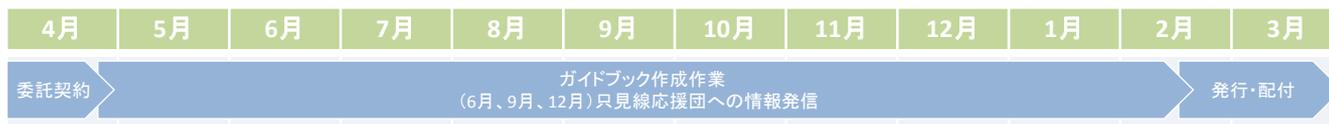


只見線ガイドブックの作成

実施者 只見線利活用プロジェクト推進チーム
 予算額 只見線利活用プロジェクト推進体制強化事業 10,221千円

只見線の魅力や地元の取組の集大成である只見線ガイドブックの作成を通して、市町村や只見線の利活用に関する取組を行っている団体、協力者になり得る住民等と対話を重ね、協働していく形で、魅力の掘り起こし・磨き上げを行う。

また、会員数6万人を超える只見線応援団も活用しながら、官民の活動を活発化させる。



KPI 只見線ガイドブック A4・20頁、50,000部発行



(主な関連事業)

地域コーディネーターの設置

新たに地域コーディネーターを設置し、只見線の利活用に関する取組を行っている団体、協力者になり得る住民等と対話を重ねながら、協働していく形で魅力の掘り起こし・磨き上げを行う。

[福島県] 予算額: 一 千円

奥会津地域人材育成

インバウンドを含む奥会津地域への誘客を進めるため、受入側である奥会津地域の誘客施設のサービス品質の図るとともに、観光産業を担う人材の育成や通訳ガイドの養成を行う。

[奥会津振興センター] 新編「歳時記の郷・奥会津」活性化事業
 (奥会津人材育成事業) 予算額: 3,691千円

只見線応援団に対する情報発信

只見線の復旧状況や只見線利活用計画の概要、各団体・住民の活動状況について、地域住民や只見線応援団へ周知することで、只見線の復旧に向けた利活用の機運を高める。

[福島県] 只見線利活用プロジェクト推進体制強化事業 予算額: 10,221千円
※全体事業費

受入体制の強化

金山町、只見町が連携し、外部有識者を招いてのワークショップの開催、観光人材の育成、着地型旅行商品の造成など、人的側面から受入体制の強化を行う。

[金山町、只見町] JR只見線受入体制強化事業 予算額: 2,000千円

只見線利活用計画 アクションプログラム2018（各プロジェクト事業一覧）

整理番号	実施者	事業名	概要	予算額 単位：千円
1 【主要】	福島県 (只見線利活用プロジェクト推進チーム)	只見線活用による 奥会津振興事業	地域が主体となり、只見線のガイドや車内や停車駅での地酒やご当地の食の提供、振舞いや伝統芸能の披露など、会津地域ならではの、ものづくりや伝統文化の体験をセットにした企画列車を運行する。	30,998 千円 ※全体事業費
2	会津坂下町	イベント列車のおもてなし	只見線におけるイベント列車運行時に駅でのおもてなしや、物産販売等を行い只見線の利用促進を図る。	40
3	実行委員会 (会津坂下町ほか)	只見線復興支援 新宿ともしび「うたごえ列車」事業	地域の有志で結成した実行委員会を主体として、うたごえ喫茶の新宿ともしびを迎え、臨時列車内でイベントを開催。また、金山町及び会津坂下町においてはうたごえ喫茶を開催し、只見線の利用促進と地域活性化を図る。	1,300
4	柳津町	JR只見線活性化事業	あわまんじゅうの振る舞い等のおもてなしを実施することで、只見線の利用活性と次年度以降のイベント列車運行に繋げる。また、柳津町の食、景観、伝統芸能、おもてなしの心をアピールし観光客として再来していただくことを目的とする。	130
5	只見川ライン観光協会	特別列車運行事業	只見線復興応援企画として特別列車運行にあわせ、乗車率向上を図るため車内での地酒試飲サービスや会津川口駅での奥会津うまいもの市などを実施する。	1,500
6	三島町	みしま観光ブランド構築のための外国人おもてなし事業	只見線を利用して訪日外国人が多く訪れる第一只見川橋梁ビューポイントまでの二次交通の運行と、通訳での案内や道の駅でのおもてなし事業を実施。観光施設への送迎や現地観光案内など着地型観光への取組む。	652
7	金山町	インバウンド対応事業	インバウンドの受入体制を整備するため、外国人旅行者に対してアンケート調査を行い、ターゲットを明確にしたうえで、着地型旅行商品の造成、営業活動、販売などを行う。	2,940
8	只見町	JR只見線利用促進 実行委員会補助金	JR只見線利用促進実行委員会を中心に、只見線利用促進イベントの実施や、車窓ガイドブックの作成を行い、只見線の利用促進を図る。	6,000 ※全体事業費
9	只見町 観光まちづくり協会	只見線特別列車 歓迎イベント	JR新潟支社や仙台支社で企画する特別列車の運行に合わせた駅でのPRイベントを実施する。また、町内のイベント時に只見線での来場者に記念品のプレゼントなどを行う。	300
10	魚沼市 観光協会	臨時列車の運行	新潟県の補助金を活用した臨時列車の運行を行う。詳細は未定だが、夏休みの期間など、増便することにより利便性を高め、沿線の誘客につなげる。	未定
11	魚沼市観光協会	こども車掌体験	臨時列車の運行に合わせて実施。車掌の衣装(男女で別のデザイン)に着替え、きっぷ確認など車掌の業務を体験する。	未定

只見線利活用計画 アクションプログラム2018（各プロジェクト事業一覧）

	整理 番号	実施者	事業名	概 要	予算額 単位：千円
奥会津景観整備プロジェクト	1 【主要】	金山町	只見線活性化事業	只見線沿線の景観を阻害する支障木について、平成30年度は調査・伐採計画策定を行うとともに、着手できる所から伐採を開始する。平成31年度から策定した計画に沿って伐採を本格的に開始する。	1,200
	2 【主要】	只見町	只見線景観整備事業	杉の伐採と落葉広葉樹の植樹により、只見線の美しい景観を形成する。	500
	3	福島県	元気ふくしま、地域づくり・交流促進事業	地域資源を活用した住民主体の地域づくりを支援するため、地域づくり団体・市町村とともに交流人口の拡大に結びつく戦略を策定し、ソフト・ハード両面からの地域活性化を図る。（只見線沿線地域においては、ポケットパーク整備に向けた調査を実施予定）	2,000
	4	三島町	三島町ビューポイント維持管理事業	三島町で最も外国人観光客が訪れる第一只見川橋梁ビューポイントにおいて、冬期間も安全に上り下りできるように遊歩道の再整備など環境整備を行う。	1,500
	5	金山町	金山町景観整備事業	大志ビュースポットの草刈りや除雪など、住民や訪れる人々が気持ちよく生活・利用できるよう景観整備を行う。	5,000
	6	只見町	つながれつながれ 只見線応援事業補助金	ボランティアが駅周辺の花壇やプランターに花を植えるなど、駅周辺の景観整備を行うことで、只見線利用者へのおもてなしを行うとともに、只見線の利用を促進する。	3,000 ※全体事業費
只見線学習列車プロジェクト	1 【主要】	福島県 (只見線利活用 プロジェクト推進 チーム)	只見線活用による 奥会津振興事業	自然・景観・歴史・暮らしなど、只見線沿線にある数多くの学習資源を活用し、列車内で特色ある体験学習を実施する。住民、企業、行政が一丸となって、学習列車で訪れる小学校の受入を行うとともに、地域の特色を活かした多彩な企画を実施する。	30,998 ※全体事業費
	2	福島県 会津・南会津 地方振興局	只見線魅力再発見事業 ほか	既存の観光パンフレットに加え、歴史や文化など学びの学習を追加して地域の魅力をPRする。小学校高学年であれば理解できるよう、分かりやすいものとして、学習列車での活動など、幅広く活用する。	1,350
	3	会津若松市	只見線復旧支援ツアー	夏休み期間中、会津若松市内在住の小学校3～6年生を対象に、①会津鉄道会津線、②奥会津地域の魅力体験、③JR只見線の乗車体験がセットになったツアーを企画・実施する。	700
	4	金山町	文化財の整備	金山町の文化財となっている施設の再整備を行うことで、旅行者等が訪れる場所とする。将来的には只見線の駅から徒歩圏内の施設の再整備も行う予定。	1,000
	5	只見町観光 まちづくり協会	乗るだけ鉄人！乗って 楽しむ鉄道ガイド	只見線の車窓から見えるポイントを只見線ガイドが案内する。只見線に乗ったら覚えて帰って頂きたい豆知識もご案内。また、不通区間の復興状況などもバス車内でご案内を行う(代行バスではなく、貸切バスでのご案内)	300

只見線利活用計画 アクションプログラム2018（各プロジェクト事業一覧）

奥会津サテライトキャンパス整備プロジェクト

整理番号	実施者	事業名	概要	予算額 単位：千円
1 【主要】	会津大学・会津大学短期大学部・専修大学・拓殖大学・東京大学等	首都圏大学生との奥会津プロジェクト	金山町が整備している、冬期間一人暮らしの高齢者が共同生活を送るための多目的共同住宅を活用し、首都圏大学生の交流活動を行うとともに、サテライトキャンパスの実現に向けて、学生が主体となった現地調査やイベントを実施する。	1,500
2	福島県	大学生等による地域創生推進事業	過疎・中間地域の担い手不足を解消し、地域コミュニティを維持・確保するため、県内外の大学生の力を活用して集落活性化を図るとともに、大学生等が地域づくりを学びながら、地域との交流を継続することで、将来的な定住・二地域居住につなげる。	6,612
3	福島県	只見線活用による奥会津振興事業	多彩な体験ツアーを実施することで、参加者が只見線と地域の隠れた魅力に触れるきっかけを作るとともに、参加者の声を今後の利活用プロジェクトに活かす。	30,998 <small>※全体事業費</small>
4	三島町	三島町空き家・住宅改修費等補助金	奥会津の課題である空き家等を活用し、移住者の受入により雪国での田舎暮らしや若者の起業を支援し、地域の活力の向上をめざす。空き家の改修に対する補助のほか、起業支援や雇用支援の補助も実施する。	11,250
5	金山町	金山町景観整備事業	冬期間に一人暮らしの高齢者が共同生活を送るための多目的共同住宅の維持管理を行う。冬期間以外は、移住者の体験住宅や学生のセミナーハウス等で活用する。	881

みんなの只見線プロジェクト

1 【主要】	福島県 (只見線利活用プロジェクト推進チーム)	地域コーディネーターの設置	只見線の復旧及び利活用に対する意識が各市町や企業、住民ごとに異なっている状況を踏まえ、只見線沿線という帰属意識の醸成を図るとともに、地域一体の取組となるため、新たに地域コーディネーターを設置する。	—
2	会津美里町商工会 (女性部等)	駅前冬季イルミネーション事業	只見線利用者に沿線地域の良さを知っていただく機会と、駅前の冬季イルミネーションによるおもてなし。	約2
3	会津美里町	会津美里町職員共助会による只見線運賃助成事業	只見線の利用促進を図るため、会津美里町職員共助会員(家族を含む)が只見線を利用した際の運賃を助成する。	約200
4	実行委員会 (会津坂下町ほか)	駅前イルミネーション	只見線の復興と利用者のおもてなしによる利用促進、地域の活性化に寄与することを目的として、冬場(12月～1月)に会津坂下駅前においてイルミネーション事業を行う。また、イルミネーションストリートinばんげとして協賛者を募り、駅から町役場まで伸びる県道停車場線を中心にしながら町中を美しく彩る。	700

只見線利活用計画 アクションプログラム2018（各プロジェクト事業一覧）

整理番号	実施者	事業名	概要	予算額
5	柳津町	民間と共同しての駅舎の利活用	駅舎の利活用及び美化活動により、受入体制の整備をおこない只見線の利用促進を図る。	15千円
6	柳津町商工会	イルミネーション&ライトアップ事業	会津柳津駅周辺、及びまちなかで季節に合わせたイルミネーション、ライトアップを実施しまちなか活性化、誘客促進を図る。	550千円
7	柳津町職員互助会	職員互助会による助成事業	只見線及び代行バスを利用するツアーに対して助成をおこない、利用促進を図る。	—千円
8	実行委員会 (柳津町ほか)	霊まつり流灯 花火大会事業	花火大会を通して観光客の誘客、只見線の利用促進を図る。	15,300千円
9	柳津町	会津柳津駅待合室暖房 管理事業	只見線利用者に快適に会津柳津駅を利用してもらえるよう、冬期間の待合室における暖房管理をおこなう。	435千円
10	金山町	JR只見線 復旧応援事業	只見線のりごり倶楽部事業を立ち上げ、町民の只見線の乗車促進を中心に、町のイベントに只見線の利用で訪れた観光客にもノベルティ等を用意する等只見線の利用促進を図る。	3,000千円 ※全体事業費
11	只見町	つながれつながれ 只見線応援事業補助金	只見町内の各種団体、学校、企業など5人以上で構成したグループが実施する、只見線の利用や活性化につながる事業に対し、最大10万円の補助金を交付する。	3,000千円 ※全体事業費
12	只見町	只見線車両にみんなで 手を振ろう事業	只見線車両に手をふる活動を広めることにより、乗客者へおもてなしの気持ちを示し、只見線に対する愛着を深め、只見線を応援する姿勢を示すことを目的とする。	—千円
13	只見町観光 まちづくり協会	只見駅開業記念日 バスデイイベント	開業日の8月20日に只見駅前広場でファンの方や町民の方が集えるイベントを企画し実施する。	50千円
14	只見町観光 まちづくり協会	只見線全線開通記念日 只見線に乗って会いに行こう	全線開通を祝して、沿線住民に乗車を促す取り組みの一環。	—千円
15	だんだんど〜も 只見線沿線 元気会議 (新潟県)	だんだんど〜も只見線 沿線元気会議事業	只見線の復旧と存続、沿線地域の活性化に向け、各種取組を関係機関(県、市、商工会、コミュニティー協議会等)が連携しながら実施。	未定

只見線利活用計画 アクションプログラム2018（各プロジェクト事業一覧）

只見線産業育成プロジェクト

整理番号	実施者	事業名	概要	予算額 単位：千円
1 【主要】	県、市町村、民間企業、住民等	只見線関連商品の開発	只見線の写真やイラストを使用した商品の開発・復活を通して、只見線をPRするとともに、各プロジェクトで活用することで、相乗効果をもたらす。	—
2	福島県	只見線活用による奥会津振興事業	地域の特産をふんだんに使った食育弁当を大学、企業と連携して開発し、学習列車時に提供することで、地域ならではの食材や食文化に触れるきっかけをつくる。	30,998 ※全体事業費
3	奥会津振興センター	奥会津六次化産品開発・販路開拓事業	「奥会津フェア」や「奥会津ブランドフェア」等の展示会を開催し、奥会津の製品の知名度を向上させ、マーケティング調査等を通じ、商品のブラッシュアップや販路拡大に繋げる。	2,875
4	只見町	JR只見線利用促進実行委員会補助金	只見線だよりの発行や只見線グッズの作成、PRポスターやチラシの作成などを通して、町民の意識向上と只見線の利用促進を図る。	6,000 ※全体事業費
5	只見町観光まちづくり協会	只見線オリジナルグッズの企画・販売	「気軽に応援できる只見線」をコンセプトに、只見線のオリジナルグッズを企画し、沿線町村の道の駅や観光施設での販売を呼びかけ、沿線一体でPRを行う。	500

只見線二次交通整備プロジェクト

1 【主要】	福島県	来て。乗って！あいづ二次交通強化支援事業	大型駐車場を保有する道の駅等と連携し、只見線利用者のための駐車場を確保するとともに、観光周遊バスを活用した二次交通対策を実施し、自動車利用者が只見線に乗れる仕組みを構築する。	45,474
2	奥会津振興センター	奥会津二次交通確保事業	小型タクシーを貸し切りにして観光名所を巡るタクシープランを造成し、多様化する外国人観光客のニーズに対応しながら只見線沿線と奥会津地域への誘客を図る。	800
3	三島町	町営バス運行事業	三島町民向けの町営バス・デマンドバスの運行を実施する。 また、只見線から第一只見川橋梁ビューポイントをはじめとする観光施設までの二次交通としても利用が可能。	28,707
4	金山町	会津バス運行存続事業	会津川口駅から昭和村への公共交通としての役割を担う会津バスに対して経済的支援を行う。	6,240
5	昭和村	昭和村生活交通対策事業	会津若松市への公共交通機関である只見線の昭和村民による利活用及び昭和村へ只見線を利用して訪れる方の利便性向上のため、会津バスと連携して、路線バスの運行を行う。	11,638

只見線利活用計画 アクションプログラム2018（各プロジェクト事業一覧）

整理番号	実施者	事業名	概要	予算額 単位：千円
1 【主要】	福島県 (只見線利活用プロジェクト推進チーム)	只見線プロモーション強化事業	インバウンドにも対応した、情報を集約、蓄積、発信する広域的な多言語ウェブサイトを作成し、只見線の魅力を訴求する情報のプラットフォームを構築する。 また、観光、産業、生活等の様々なシーンを動画、ドローン等で記録し、今後の情報発信、販路拡大に活用するとともに、プロモーション動画を制作し、ポスター等と連動させながら、魅力を発信する。	25,500
2	福島県	只見線活用による奥会津振興事業	吉本興業と連携した只見線体験ツアーや吉本芸人によるSNS及び全国ネット番組等での情報発信を通して、只見線の地域の魅力を全国に届ける。	30,998 <small>※全体事業費</small>
3	奥会津振興センター	只見線のある風景写真コンテスト事業	地域全体のさらなる復興の機運を盛り上げるため、フォトコンテストを開催する。さらに応募作品は当協議会を通じて広く活用することで、只見線沿線地域・奥会津地域をPRし、観光交流人口の拡大を図る。	720
4	奥会津振興センター	奥会津のPR強化	旬な情報を効果的に情報発信するため、テレビ・インターネット等様々なメディアを用いて流域内のイベント情報や観光・物産情報を紹介し、「歳時記の郷 奥会津」の知名度を高める。	20,446
5	会津美里町	只見線に関する情報発信事業	只見線の利用促進や全線復旧に関する情報を町広報紙や町ホームページで発信する。	—
6	金山町観光物産協会	金山町観光情報センター運営事業	金山町の玄関口である会津川口駅の構内にて観光のPRを行う。	4,818
7	金山町	SNSを使った金山町や只見線の観光PR・情報発信事業	金山町や只見線の魅力を観光客に伝えるため、FacebookなどのSNSを活用した観光PR・情報発信を行う。	7,853
8	北塩原村	只見線PR対策	北塩原村が実施する各事業において、交通手段・観光ルートの一つとして只見線をPRする。 ・首都圏等との交流事業において、交通手段としてPR ・観光施策における一つの観光ルートとしてPR	—

只見線利活用計画 アクションプログラム2018（各プロジェクト事業一覧）

只見線プラットフォームホーム構築プロジェクト

整理番号	実施者	事業名	概要	予算額 単位：千円
1 【主要】	福島県 (只見線利活用プロジェクト推進チーム)	只見線利活用プロジェクト推進体制強化事業	只見線の魅力や地元の取組の集大成である只見線ガイドブックの作成を通して、市町村や只見線の利活用に関する取組を行っている団体、協力者になり得る住民等と対話を重ね、協働していく形で、魅力の掘り起こし・磨き上げを行う。	10,221 ※全体事業費
2	福島県	地域コーディネーターの設置	新たに地域コーディネーターを設置し、只見線の利活用に関する取組を行っている団体、協力者になり得る住民等と対話を重ねながら、協働していく形で魅力の掘り起こし・磨き上げを行う。	—
3	福島県	只見線利活用プロジェクト推進体制強化事業	只見線の復旧状況や只見線利活用計画の概要、各団体・住民の活動状況について、地域住民や只見線応援団へ周知することで、只見線の復旧に向けた利活用の機運を高める。	10,221 ※全体事業費
4	奥会津振興センター	奥会津人材育成事業	インバウンドを含む奥会津地域への誘客を進めるため、受入側である奥会津地域の誘客施設のサービス品質の図るとともに、観光産業を担う人材の育成や通訳ガイドの養成を行う。	3,691
5	金山町 只見町	JR只見線受入体制強化事業 ほか	金山町、只見町が連携し、外部有識者を招いてのワークショップの開催、観光人材の育成、着地型旅行商品の造成など、人的側面から受入体制の強化を行う。	2,000



只見線利活用計画 アクションプログラム2018 【参考】県関連事業 1

整理番号	実施者	事業名	概要	予算額 単位:千円
1	福島県 (地域振興課)	ふくしまふるさとワーキング ホリデー事業	都市部の若者等が一定期間本県に滞在し、働きながら地域との交流などを通して、福島 の暮らしを学び、体験する国内版ワーキングホリデーを実施する。	19,146
2	福島県 (地域振興課)	福島に来て。交流・移住推 進事業	地域の担い手となる人材を確保するため、交流人口や関係人口の拡大を図りながら、本県 の魅力の情報発信及び移住者等の受入体制づくりを強化するとともに、市町村等が行う受入 環境整備の取組を支援するなど、本県への移住促進を図る。	202,842
3	福島県 (地域振興課)	地域資源を活用した利雪・ 克雪事業	過疎・中間地域の課題である冬期間の収入確保を図るため、地域自らがスキー場などの冬 の地域資源を活用し、国内外からの誘客により、新たな人の流れをつくり、収入確保、地域へ の人材定着を図る。	16,594
4	福島県 (地域振興課)	地域おこし協力隊支援事 業	都市住民が地域に居住し、地域住民と共に、地域の活性化に大きな役割を果たしている地 域おこし協力隊制度を活用して、地域おこし協力隊を設置し、地域の活力向上や定住人口 の拡大を図る。	98,826
5	福島県 (自然保護課)	スタートアップふくしま尾瀬 事業	次世代を担う高校生、大学生等や留学生を新たな対象として尾瀬の優れた自然環境を体 感するツアーや、アウトドア関連企業との連携による尾瀬の魅力体験するフェスティバル等 を開催するとともに、参加者等のSNS、PR動画、雑誌などを活用した国内外への情報発信に より「ふくしま尾瀬」を広くPRする。	36,117
6	福島県 (観光交流課)	ふくしまDMO推進プロジェ クト事業	依然として風評被害に苦しむ本県観光の再生と観光による地域づくりを促進するため、観光 地の維持・成長に向けて総合的なマネジメントを担う組織である「日本版DMO」の形成を推進 する。	53,199
7	福島県 (県産品振興戦略 課)	クリエイティブ伝統工芸創 出事業	伝統工芸を始めとした地場産業の新たなブランド価値を創出するため、クリエイターと県内 事業者とのマッチングにより、新たな商品開発を行うとともに、販路の開拓・拡大や、将来的な 担い手の確保を図る。	60,921
8	福島県 (建築住宅課)	移住促進仮設住宅提供事 業	定住・二地域居住を推進するため、仮設住宅を活用して“お試し住宅”等を整備する市町 村に対し、仮設住宅を再利用するための解体と「建築資材」の運搬、整備する住宅等の「再 利用設計」を提供することにより、事業の一部を支援する。	56,500
9	福島県 (建築指導課)	福島県空き家・ふるさと復 興支援事業	移住・定住、被災者等の住宅再建を推進し、本県の活性化・復興を図るため、県外から県 内への移住者や被災者等が行う空き家改修等に対し、補助金を交付する。	101,400
10	福島県 (建築指導課)	来て ふくしま 住宅取得 支援事業	良質な住宅取得を行う県外から県内への移住者に対し、地域の活性化を協力に進めるた め、市町村が主体となって地域の実情を踏まえて行う住宅取得支援事業に対し、補助金を 交付する。	31,200
11	福島県 (建築指導課)	福島県空き家再生・子育て 支援事業	市町村が取り組む空き家対策と連携し、子育て世帯の居住の安定確保や人口減少の抑制 を図るため、子育て世帯が空き家を取得して行う改修工事等に対し、補助金を交付する。	41,000

只見線利活用計画 アクションプログラム2018 【参考】県関連事業 2

整理番号	実施者	事業名	概要	予算額 単位:千円
12	福島県 (生活交通課)	ふくしま地域公共交通強化支援事業	地域住民、交通事業者、市町村が連携し、持続可能な公共交通を構築するための取組を行う市町村や広域二次交通を確保する事業者等の取組に対して支援を行う。	76,649
13	福島県 (生活交通課)	生活路線バス運行維持のための補助(通常)	国の地域公共交通確保維持改善事業と協調して、市町村間をまたぐ幹線系バス路線について、一体的、持続的に支援していくことで県民の生活の足を確保する。	91,801
14	福島県 (観光交流課)	教育旅行復興事業	教育旅行の復興のため、貸切バス運賃の制度改正に伴うバス料金の値上がりに対する経費の一部補助を行うとともに、教育旅行誘致キャラバンや情報発信等を行う。また、長期宿泊需用の見込まれる学生の合宿の誘致を図る。	259,289
15	福島県 (観光交流課)	福が満開福のしま観光復興推進事業	風評払拭と本県観光の本格的な復興に向け、浜通りの復興に焦点を当てたホープツーリズムの推進や、各温泉地のリピーター促進など地域の観光魅力づくりの取組に対する支援、テーマ別観光周遊企画、閑散期の誘客強化のための秋冬観光キャンペーンなどを展開するほか、戊辰戦争から150周年を機に戊辰ゆかりの地を巡る周遊ラリー等を実施する。また、地域の交流人口拡大や地域経済に大きな効果の見込まれる大規模なコンベンションの誘致を図る。	528,649
16	福島県 (観光交流課)	福島インバウンド復興対策事業	東日本大震災等の影響により本県の訪日外国人旅行者は大きく落ち込み、全国的なインバウンド急増に遅れをとっていることから、外国人目線に立ち、各市場別の嗜好にあった施策を展開・強化することにより、本県の観光復興を加速化させる。	830,447
17	福島県 (広報課)	チャレンジふくしま戦略的情報発信事業	根強く残る風評の払拭と時間の経過とともに加速する風化の防止を図るため、市町村、国、民間企業等と連携し、復興の歩みを進める本県の姿や食と観光等の魅力を国内外に向けて発信するとともに、共感・応援の輪を拡大する取組を実施する。	366,878
18	福島県 (県産品振興戦略課)	「ふくしまプライド。」発信事業	風評払拭と本県のイメージ回復を図るため、全国新酒鑑評会で金賞受賞数が5年連続日本一となった県産日本酒や醤油など、本県が誇る県産品を国内外に向けて力強く発信し、販路の開拓・拡大、本県ブランドの向上を図る。	421,549
19	福島県 (空港交流課)	福島空港復興加速化推進事業	福島空港の国際線再開に向けた働きかけや国際チャーター便への支援を行うとともに、国内路線拡充のための観光・ビジネス利用向上施策や、空港のイメージアップ事業を展開し、福島空港を本県の空の玄関口として再生させ復興の加速化を図る。	101,400
20	福島県 (まちづくり推進課)	元気ふくしま、地域づくり・交流促進事業	地域資源を活用した住民主体の地域づくりを支援するため、地域づくり団体・市町村とともに交流人口の拡大に結び付く戦略を策定し、ソフト・ハード両面からの地域活性化を図る。	207,587
21	福島県 (地域振興課)	新編「歳時記の郷・奥会津」活性化事業	「人が住み、集まる魅力的な奥会津」を目標に、只見川電源流域7町村等が実施する只見川電源流域振興計画を支援し、奥会津の交流人口の拡大、地域産業の振興と雇用の安定確保につなげる。	199,079

只見線利活用計画 アクションプログラム2018 【参考】県関連事業 3

整理番号	実施者	事業名	概要	予算額 単位:千円
22	福島県 (地域振興課)	地域創生総合支援事業	住民主体の個性と魅力にあふれる地域づくりを推進するため、民間団体や市町村等が実施する地域活性化の取組を支援するとともに、地方振興局を中心とする出先機関が、地域課題に機動的かつ柔軟に対応するため、地域の実情に即した事業を企画・実施する。	878,925
23	福島県会津 地方振興局	会津観光再興キャンペーン	会津地域の観光情報発信と広域観光の推進を図るため、観光情報センター「iらんしょ。」を運営するとともに、首都圏での観光PRを実施する。 ①会津観光情報センター「iらんしょ。」の運営、観光情報発信サポート ②首都圏における観光PRの実施	21,999
24	福島県会津 地方振興局	学べる磐梯山(会津磐梯山エリア)魅力発信プロジェクト	会津磐梯山エリア全体が学びの場というイメージの訴求、ブランディングとして情報発信を展開し、教育旅行先としての選択率を高めるなど、誘客促進につなげる。 ①総合型プロモーション事業(動画作成、各種広報媒体を活用した情報発信) ②誘致PRキャラバン	25,351
25	福島県会津 地方振興局	磐梯山ジオパークを活用した風評払拭事業	磐梯山ジオパーク活動の普及啓発の促進により、磐梯山エリアの風評払拭と観光振興を促進する。 ○磐梯山ジオパークを活用した風評払拭事業(インバウンド対策等、ジオグルメスタンプラリー等)	10,444
26	福島県会津 地方振興局	おたねにんじんを活用した風評払拭プロジェクト	おたねにんじんを会津の観光資源とした観光誘客及び地元での利活用促進の取組を進める。 ①観光モニターツアーの実施 ②地元小学生体験事業(親子栽培・収穫体験、学校給食での活用)	2,632
27	福島県会津 地方振興局	民間団体の只見線利活用促進事業	民間団体を訪問し団体の代表者等にモデルコースの下見をしていただき自主的な只見線の利用につなげる。	68
28	福島県南会津 地方振興局	「おいでよ！南会津。」教育旅行誘致促進事業	南会津地方を自然環境学習の拠点とするため、体験内容のブラッシュアップ、誘致PRキャラバンの実施、専用ワンストップ窓口の設置等を行う。	26,300
29	福島県南会津 地方振興局	「おいでよ！南会津。」都市・農村交流拡大事業	南会津地方の魅力を多方面に発信するため、南会津地方のポータルサイト「おいでよ！南会津」を運営する。	14,188
30	福島県南会津 地方振興局	空撮による南会津の新たな魅力発信事業	南会津地方の自然をドローンで撮影・紹介することで、観光誘客を図る。	250
31	福島県南会津 地方振興局	地域「おもてなし」向上支援事業	観光客と接する機会が多い宿泊、交通、飲食店等が、地域の魅力を効果的に発信できるようにするための取組を支援する。	200
32	福島県南会津 地方振興局	地域を活かし、地域に尽くそう！南会津ふるさと教育事業	只見線等、南会津地方の素材を使用した計算問題等を作成・配布し、小学6年生の自主学習教材として使用してもらうことで、地域愛の醸成等を図る。	167